

Q 「受援力」を高めるための取り組みは

A 関係機関の連携のもと必要な応援と情報発信を行っていく

小川榮一 議員

(1) 被災した自治体に全国から災害ボランティアが駆けつけ、復旧・復興への大きな力になっている。しかし、援助を受けとめる体制ができていないと、せっかくのマンパワーを活かすことが出来ない。近年、災害ボランティアの援助を受けとめる力を「受援力」と捉え、受援力を高める取り組みがなされている。そこで尋ねる。神戸町では、受援力を高めるために具体的にどのような取り組みがなされているのか。

(2) 町のボランティア団体で組織された神戸町ボランティア連絡協議会（以下「ボラ連」）は、平成20年の創立以来、災害ボランティアセンター開設訓練などを継続的に取り組んでいる。「神戸町地域防災計画」では、ボラ連との連携や指導・支援が述べられているが、行政からの連携が弱いように見受けられる。受援力を高めるためにも、ボラ連との連携を具体的な訓練で強化することが必要であると考えているがどうか。

A 町長

(1) 災害ボランティアの受け入れ体制として、神戸町災害対策本部と神戸町社会福祉協議会（以下「社協」）が協議の上、社協が災害ボランティアセンターを立ち上げるようになってきている。この災害ボランティアセンターでは、災害ボランティアの受け入れ、被災者ニーズに沿ったマッチング、関係機関との連携を行うことになっている。町としては、災害ボランティアセンターの設置・運営に関して、人的な応援、資機材の確保、報道機関に対する情報発信などを行っていく。

また、毎年、社協が実施している災害ボランティアセンターの設置・運営の立ち上げ訓練については、ボラ連が主体となって行っていたらいい。その際に町の担当職員も参加し、連携を深めている。

(2) 現在、社協において令和3年4月から運用を始める計画で「災害ボランティアセンター」の策定を進めている。策定された運営マニュアルにもとづき受援力の向上に向け、具体的な訓練目標、関連団体との情報共有をしながら実施時期など検討していきたい。



災害ボランティアの活動の様子（東日本大震災）

Q

令和3年度の予算編成について

A

必要な財源の重点的・効果的な配分を図っていく



「新型コロナウイルス感染症」の第3波の広がりに町民の不安が広がっている。収束への展望がまったく見えないという厳しい情勢下での新年度予算編成作業だが、次の諸点について質問する。

- (1) 新年度予算編成にどのような基本姿勢で臨むのか。
- (2) 「コロナ禍」の大きな影響を受け、財源の確保も厳しさが予想されるが、どのような見通しか。
- (3) 暮らしに直結する公共料金などは軽減することが町民の願いだが、町の独自対策の考えは。
- (4) 住民の願いが強い「住宅リフォーム助成

制度」は、ぜひ存続すべきだがどうか。

A 町長

(1)及び(2) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う景気低迷の影響により、令和3年度の歳入は、法人住民税をはじめ大幅な税収減による一般財源の不足が見込まれる。

このような状況を踏まえての新年度予算編成の基本姿勢として、まず、コロナ禍で低迷している地域経済やまちのにぎわいを取り戻し、新しい生活様式に対応した町民サービスを展開するためには、必要な財源の重点的・効果的な配分を図って

いくことが不可欠である。

事業見直しによる財源確保や新しい生活様式に対応した施策の推進、経営改革への取り組みにより、町民サービスの水準を維持しつつ、社会の変化を的確に捉えて施策を展開していくことで、「暮らしやすさ実感 ごうどマイタウン」の実現を目指していく。

(3) 今年度においては、上水道基本料金の10か月間の免除事業を実施している。

令和3年度については、国からの新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の動向など、国や県が実

施する対策の状況を注視しながら対応していく。

(4) これまでの申請内容を検証すると、住宅設備の老朽化による改修が多くあるほか、契約事業者の約8割を町外の事業者が占めているなど、一定の事業効果はあったものの、地元経済への波及効果は少なく、本来の目的が達成されているとは言い難い状況がみられることから、現在、廃止を含めて検討している。

鈴木愛子 議員

委員会の動き

12月定例議会

民生文教常任委員会

12月9日(水)

協議議題

1. 定例議会提出議案審査
2. 報告事項
 - ①令和元年度教育委員会事務事業の点検・評価報告
 - ②令和3年度小中学校行事の日程

総務建設常任委員会

12月10日(木)

協議議題

1. 定例議会提出議案審査
2. 防災・減災、国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書
3. 報告事項
 - ・市街化編入に係る都市計画変更及び西屋倉地区土地区画整理事業の進捗状況



3月定例会のお知らせ

☆会期の日程

- 3月1日(月) 開会、議案の説明
- 3月10日(水) 一般質問
- 3月11日(木) 議案の審議

☆場所

役場3階 議場

☆時間

午前9時30分から



消毒液による手指の消毒及びマスクの着用にご協力ください



大野町・神戸町議会議員合同研修会に参加

12月17日(木)、大野町役場において、大野町・神戸町議会議員合同研修会が行われた。

今年度は、北方町長戸部哲哉氏を講師に招き、「北方町の都市整備に係る経緯」と題し、継続的に実施されてきた土地区画整理事業や、平成28年8月に内閣府から認定を受けた地域再生計画に基づいた地域住民の賑わいの場の創出、企業誘致などの事例を交えながら、持続可能な活力あるまちづくりについて講演を聞いた。



ふるさと再発見

今回の表紙は、松本義雄さん(本町)に、ライトアップされた「三重塔」を撮影していただいたものです。

日吉神社境内にある三重塔は、永正年間に齊藤利綱が建立し、天正13年(1585年)に稲葉一鉄が修造したもので、豪壮華麗な室町時代の建築様式を遺憾なく発揮した貴重な塔です。

戦火を免れ、地震や落雷、台風等の災害を乗り越え、人々の努力によって歴史遺産として現在に伝えられています。

一日も早く新型コロナウイルス感染症が収束して、歴史と伝統を色濃く残す日吉神社に、多くの参拝者で賑わうことを願うものです。